

令和 2年度予算見積調書

課室名: 防犯・交通安全課
 担当名: 総務・交通安全担当
 内線: 2951

(単位: 千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B80	高齢運転者の安心・安全事業費			一般会計	総務費	県民費	交通安全対策費	交通安全教育推進事業費	
事業期間	令和 2年度～ 令和 4年度	根拠法令	交通安全対策基本法			宣言項目 分野施策	020411 交通安全対策の推進		
1 事業概要 市町村の自主返納・安全運転支援装置促進事業を支援することで高齢運転者の事故防止を図る。 (1) シルバー・サポーター制度の周知、協賛事業者拡大 860千円 (2) 高齢者運転免許自主返納サポートセミナー等の実施 160千円 (3) 交通安全教育・啓発推進事業 2,777千円				5 事業説明 (1) 事業内容 ア シルバー・サポーター制度の周知、協賛事業者拡大 860千円 ・ 県警察が行うシルバー・サポーター制度が一層活用されるよう制度を周知するための資料作成をし、市町村を窓口とした周知、活用の促進、協賛事業者拡大を図る イ 高齢者運転免許自主返納サポートセミナー等の実施 160千円 ・ 高齢者の運転継続について相談を受けることが多い地域包括支援センター等に対し、免許制度や返納手続等の知識、相談対応要領等のセミナーを開催、市町村施策の取り組み状況を集約して情報共有を図り、好事例の横展開を図る ウ 交通安全教育・啓発推進事業 2,777千円 ・ 警察官OB（元運転免許試験員）による高齢運転者を対象とした出前講座を実施するほか、安全運転支援装置使用上の注意点を含む講習カリキュラムを作成して補助金交付の要件とする講座を市町村で開催 (2) 事業計画 ア シルバー・サポーター制度周知用資料の作成、配布（6月～） イ 高齢者運転免許自主返納サポートセミナー等の開催（11月～） 自主返納支援コーディネーターによる同行訪問等（通年） ウ 安全運転支援装置普及に向けた講座（5月～） (3) 事業効果 高齢者の交通事故、特に高齢運転者による交通事故を減少させる（死傷者数、件数で効果を評価） (4) 県民・民間活力、職員のマンパワーの活用、他団体との連携状況 市町村や警察と連携を図る					
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)									
3 地方財政措置の状況 なし									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×2.0人=19,000千円									
予算額				財 源 内 訳				一般財源	前年との 対比
決定額	3,797						3,797	3,797	
前年額	0						0		